

Crescendo

2026.10
vol.164

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

NINJA BRASS



ドロン!

一流の
演奏家が
忍者に!?

トランペット
高橋 敦氏

インタビュー

Contents

世界最高峰のコンクールで受賞した若き3人、宮崎で初共演!

◆ ピアノトリオ「新世代の響き」

～前田妃奈(ヴァイオリン)×佐藤晴真(チェロ)×久末航(ピアノ)～

光と影と音が織りなす、唯一無二の影絵芝居。

◆ プロジェクト午 川村亘平斎の影絵と音楽

午年影絵『春と田畑は風を追う』

音や暗闇が不安な方も安心して鑑賞できるコンサート!

◆ 知的・発達障がい児(者)にむけての劇場体験プログラム 劇場って楽しい!! 2026 in 宮崎

名作オペラを言葉と音で味わう新しい世界へ。

◆ '26みやざきの舞台芸術シリーズⅡ 歌と朗読で楽しむオペラ「魔笛」

勝敗を決めるのはあなたの一票!?

◆ '26みやざきの舞台芸術シリーズⅢ 紅白対抗クラシック合戦!

世界を魅了する新世代、宮崎初登場！

前田 妃奈×佐藤 晴真×久末 航 ピアノトリオ「新世代の響き」

ヴァイオリン、チェロ、ピアノ——鮮やかな個性を放つ新世代が集う、贅沢な共演！
世界が注目する若き3人が、12月12日、ピアノトリオとして宮崎に初登場します。
公演に先駆けて、音楽のこと、お互いのこと、そして素顔について聞きました。
3人の言葉から、共演への期待がさらに膨らみます。

3人に同じ質問を聞いてみました！



©T.Tairadata

前田 妃奈

(ヴァイオリン)

2022年

第16回 ヴィエニャフスキ国際
ヴァイオリンコンクール 優勝

Q1 今回のピアノトリオで楽しみにしていることは？

A. まずは、尊敬するお二人との共演がそれはそれは楽しみ(&足を引っ張らないかヒヤヒヤ)です。そしてなんといっても演奏機会の少ないコルサコフのトリオ!あとおそらく初めての宮崎なので、美味しいもの!

Q2 共演するお二人は、それぞれどんな人？

A. 久末さんは前世が大型犬だと思う。結構おもしろい人です。なんでも弾けます(マジで)。佐藤さんは、前世がキリン?リハーサルをしていて物知りな方で、すごく頭の中が自由だなあと感じます。感性が四次元ポケット。

Q3 休日の過ごし方は？

A. 休日は、寝てます。寝て起きて、食べてまた寝て…。今年の夏は移動ばかりだったので、譜面台を持ち歩く時に楽器ケースにくっつけられるように、譜面台ケースを手作りしました!あと、チーズケーキを焼くのにもハマっています。

Q4 コンサートを楽しみにしている皆さまへメッセージ

A. 今回のこの3人での演奏会は、宮崎でのこの公演のみです!それぞれの最新のCDからのソロやデュオでの演奏もあり、盛りだくさんできっと楽しんでいただけると思いますので、ぜひお越しください!

佐藤 晴真

(チェロ)

2019年

ミュンヘン国際音楽コンクール
(チェロ部門) 優勝

Q1 今回のピアノトリオで楽しみにしていることは？

A. 前田さんの濃く力強いサウンド、久末さんのエレガントで伸びのある音楽性とどんな化学反応があるか、とてもワクワクしています。

Q2 共演するお二人は、それぞれどんな人？

A. お二人ともが持っているレスポンスの速さ、懐の深さは音楽と一緒に作る上でとてもやりやすく、信頼できることです。

Q3 休日の過ごし方は？

A. 休日には、とにかく寝ています。家では、クラシック以外のヒップホップやジャズをよく流しています。

Q4 コンサートを楽しみにしている皆さまへメッセージ

A. それぞれの楽器の持ち味が存分に楽しめる前半と、続く後半でそれらがどう交差し混ざり合うか、ぜひ最後までお聴きいただければと思います!



©Seiichi Saito

久末 航

(ピアノ)

2025年

エリザベート王妃国際音楽コンクール
日本人史上最高位 第2位

Q1 今回のピアノトリオで楽しみにしていることは？

A. 初めて宮崎を訪れること、初めてこの3人でトリオを演奏できること、そして初めて挑戦するリムスキー=コルサコフのトリオをご披露できることです。

Q2 共演するお二人は、それぞれどんな人？

A. 前田さんは自由闊達でのびやか、佐藤さんは「男気」があって懐深い。お二人とも、心に熱いものを秘めていて、かつとてつもない努力家だと思います。

Q3 休日の過ごし方は？

A. 夏は湖に泳ぎに行ったりボートに乗ったり。時間があるときは、美術館にもよく行きます。あとは食べることが好きで、よく街に出歩いています。

Q4 コンサートを楽しみにしている皆さまへメッセージ

A. それぞれの楽器の魅力が存分に伝わるような、こだわりあるプログラムを三人で考えました。ぜひたくさんの方々に、会場で生の音楽を楽しんでいただければとても嬉しいです。

公演情報

ピアノトリオ「新世代の響き」

日時:2026年12月12日(土) 13:30開場/14:00開演

会場:演劇ホール

出演:前田妃奈(ヴァイオリン)、佐藤晴真(チェロ)、久末航(ピアノ)

曲目

J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007
I. ストラヴィンスキー:ディヴェルティメント (ヴァイオリンとピアノ編)より
I. Sinfonia II. Danses suisses IV. Pas de deux: Coda
D. ショスタコーヴィチ:ピアノ三重奏曲第1番 ハ短調 作品8
N. リムスキー=コルサコフ:ピアノ三重奏曲 ハ短調

NINJA BRASS

音のお城巡り
戦国時代 × ドラゴンクエスト

トランペット奏者
高橋 敦インタビュー



東京都交響楽団の金管奏者たちが忍者衣装に身を包み、

城(歴史)と音楽を融合させたユニークなコンサート[NINJA BRASS]。

今回は、トランペット奏者の高橋敦さんに、この異色のプロジェクトについてお話を伺いました。



——「NINJA BRASS」結成のきっかけを教えてください。

高橋 5~6年前、パシフィコ横浜で毎年12月に開催される「お城 EXPO」から、金管五重奏でお城に関係する音楽を演奏してほしいという依頼を受けたんです。全国からお城マニアの方々が集まる大きなイベントで、NHK 大河ドラマや時代劇のテーマ曲を演奏したところ、すごく好評だったんですよ。

——なぜ忍者の衣装を？

高橋 ただタキシードで演奏するのも面白くないなと思ひまして。東京都交響楽団のメンバーが「お忍び」で横浜に来ているという設定を考えたんです。お忍び=忍者ということで(笑)。小田原城から忍者の衣装を借りて演奏を始めたのが最初でした。今ではお城EXPOのメインイベントとして定着しています。

——金管五重奏にヴァイオリンと打楽器が加わったのはなぜですか？

高橋 最初は金管五重奏だけでしたが、会場がどんどん大きくなって。今では3,000人規模のスペースで演奏しているんです。それで、もっと華やかにしたいという要望があって。それに、男ばかりの黒い忍者衣装なので、女性を入れてほしいという声もあったんです。

——女性メンバーの「設定」はあるんですか？

高橋 「お姫様」という設定なんです(笑)。お姫様といえばヴァイオリンだろうということで、蔭井清夏さんに加わっていただきました。きらびやかなお着物姿で演奏してくださいませ。打楽器は3年目から加わって、西川圭子さんには赤い忍者衣装を着ていただいています。

——今回の延岡公演のプログラムについて聞かせてください。

高橋 前半は歴代の大河ドラマのテーマ曲を演奏します。今年は豊臣秀吉が関係する大河ドラマなので、豊臣繋がりの作品も取り入れています。「豊臣兄弟!」「秀吉」「おんな太閤記」など、大河ドラマの楽曲は作曲家が全員違うので、それぞれの個性や時代性が楽しめると思います。懐かしいと思われる方もいらっしゃるでしょうし、各世代に刺さるプログラムになっていますね。

公演情報

2026年12月6日(日) 13:30開場 14:00開演

会場 野口遵記念館 ホール

出演者 NINJA BRASS

メンバー:高橋 敦・伊藤 駿(トランペット)、西條 貴人(ホルン)、小田桐 寛之(トロンボーン)、佐藤 潔(チューバ)、西川 圭子(パーカッション)、蔭井 清夏(ヴァイオリン)

プログラム 第1部/大河ドラマのテーマより
第2部/ドラゴンクエストの音楽より

公演詳細▶



——後半はドラゴンクエストなんですね。

高橋 そうなんです。ドラゴンクエストにもお城がたくさん出てくるので、「お城 EXPO」との繋がりを選びました。すべて私が今回の7人編成用にアレンジしています。前半とはガラッと雰囲気が変わって、すぎやまこういち先生の統一された世界観を味わっていただけたと思います。

——実際にゲームをプレイされたことはありますか？

高橋 もちろんアレンジさせていただく以上、この曲がどういうシーンで使われているのを知っておきたかったんです。「ここでこの曲が出てくるのか」って、涙が出るくらい感動することが何度もあります。

——演奏中は映像も楽しめるそうですね。

高橋 はい。プロジェクターで全国の城を投影して、その城が舞台となった大河ドラマを振り返りながら演奏します。音楽を聴きながら歴史の勉強もできるという(笑)。延岡城跡もその一つとして登場する予定です。

——最後に、お客様へメッセージをお願いします。

高橋 金管アンサンブルのコンサートはどうしても似たようなプログラムになりがちですが、今回はヴァイオリンや打楽器も入っているので、場面場面ではオーケストラのサウンドに近い響きを楽しめると思います。吹奏楽や金管楽器をやっている方はもちろん、オーケストラしか聴いたことがない方、ピアノをやっている方、大河ドラマをいつも欠かさず見ている方、ドラゴンクエストが大好きな方、いろんな方々に楽しんでいただけたと思います。延岡には延岡城跡もありますし、歴史好きの方も多い町だとお聞きしています。今回の延岡公演は九州初上陸なんですよ。多くの方々にぜひ楽しんでいただきたいと思います。

コラム 忍者としても一流？

——忍者衣装へのこだわりはありますか？

高橋 最初は着方が分からなくて大変でした(笑)。パーツがたくさんあって、どう縛るのか、どっち向きなのか。30分もかかっていたんですよ。でも今ではみんな5分で着られるようになりました。

——修行の成果ですね(笑)。

高橋 そうですね。そういった意味では全員、本物の忍者に近づいてきたかもしれません(笑)。

春と田畑は風を追う

影絵師・音楽家の川村亘平斎さんは毎年干支にちなんだ作品を創作されています。2026年は午年!ということで午年の新作、午年影絵『春と田畑は風を追う』を11月22日に当劇場で上演します。今回は、公演の見どころを川村さんに伺いました。(2026年 8月取材)

Q. これまでも当劇場事業でご来場いただいておりますが、宮崎の印象はいかがですか？

宮崎を初めて訪れたのは、WSと公演の企画(『ヒカリトカゲノシンワ』2020)でした。コロナ禍でしたが、WSには20人ほどの方が参加してくださいました。宮崎の民話を題材に、参加者には自分たちのご先祖様について調べてもらい、その人物たちが登場する形で物語を上演したのですが、とても印象的な出来事がありました。私が選んだ大根にまつわる民話が、偶然にも参加者の方のご先祖様の話だったんです。その方は大根農家の家系で、たまたまその物語を担当して出演することになりました。こんな不思議が重なり、ご縁を感じました。その後も都井岬での企画(『avec Toi』2023)で南の方へ足を運んだりもしました。私は全国で神話や民話を調べていますが、宮崎には、物語の源流がいろいろなところにあると感じています。もともと関東の人間ですが、関東で物語を読み聞きするよりも、宮崎でその話を聞く方が、「これって本当にあった話なのかもしない」「こういう景色の中から生まれてきたんだ」と実感できます。そういう体験ができる宮崎は、私が取り組んでいる活動とも親和性が高く、とても惹かれる場所だと感じています。

Q. 音楽家の方々とはどういった経緯で一緒にすることになりましたか？

今回一緒に演奏する3人は、私がやっている【滞空時間】という音楽ユニットのメンバーです。

HAMAさんは大学の同級生で、もう30年ほどの付き合いになります。ガムランをはじめ、エジプト、トルコなどアラブの打楽器を演奏します。トンチさんはスティールパン奏者で、20代の頃から知っています。カメイさんも昔から知っていましたが、一緒に演奏するようになったのはここ2、3年です。キーボードを中心に、サクソや打楽器など何でも演奏できる人です。

私の影絵芝居は、インドネシア・バリ島の古典的な様式を大切にしています。そこで重要なのが即興性です。音楽が決められた尺で演奏されるのではなく、その場で影絵師の合図や歌に合わせ音楽が変化していきます。今回の3人は、そうしたお芝居と音楽の呼吸を理解している、まさにエキスパートです。影絵芝居と音楽がお互いに反応しながら、その場で景色をつくっていく、普段あまり見ることでできない表現を楽しんでいただけたと思います。ガムランやスティールパンが融合して響く空間も、とても貴重なものになると思います。

カメイナホコ

Q. 『春と田畑は風を追う』はどんな作品ですか？

作品のベースになっているのは、3年前に宮崎県立芸術劇場のプロデュースで制作した、都井岬での馬の物語(『御崎馬の夢』2023)です。そのときにフィールドワークで森の中に残された馬の骨(亡くなってしまった)を見たことが、とても印象に残っていました。また、インドネシアでは馬は

プロジェクト午
川村亘平斎の影絵と音楽
午年影絵

『春と田畑は風を追う』

2026年11月22日(日) 14:00開演

会場 イベントホール

出演者 川村亘平斎、HAMA、トンチ、カメイナホコ
ワークショップ参加者

公演情報

プロジェクト午
川村亘平斎の影絵と音楽
午年影絵

風を追う

「あの世へ乗っていく乗り物」とされています。日本でも東京の方では、お盆にきゅうり【馬を見立てる(精霊馬)】やなすの飾り物を作るのですが、ご先祖様がこの世とあの世を行き来する意味があります。都井岬で亡くなった馬、インドネシアの文化、日本の文化、この3つが「生と死」と馬を通してつながると感じ、作品を作りました。タハタという少女とハルという仔馬が、病気で亡くなりそうな母馬のカゼの魂を追って、あの世へ探しに行く物語です。

Q. 干支の作品上演はいつから始めましたか？

寅年から作り始めたので、今年で5年目です。インドネシアで影絵芝居を学んでいると、古い神話をもとに、現代的な文脈を加えながら上演していることが多く、日本でもそういう題材がないかと考えていました。干支はカレンダーや年賀状などでは身近ですが、干支にちなんだ物語は、意外とあまり語られていません。そこで、新作を作り続けるための題材としても面白いと思い、干支をテーマにすることにしました。12年あれば少なくとも12作品は作れるので、「とりあえず12年はやるぞ」と思っています。

Q. 作品創作と各地とのつながり

私はこれまで全国で100本近く作品を作ってきました。土地ごとに作った物語は、その場所でするためのものなので、そのまま別の土地に持っていくのではなく、物語の骨組や、こぼれてしまった要素を新しい作品に取り入れています。今年の馬の物語も、都井岬で作ったものを原型に、福島や山梨など、各地で体験したことを重ねています。いろいろな土地で生まれた物語の断片が集まり、別の物語に生まれ変わっていくような感覚で作品を作っています。

Q. 見どころを教えてください

生演奏と即興だけでなく、ワークショップに参加された方たちも、当日の上演に一部参加します。絵を描くのが苦手、工作が苦手という方も、ぜひワークショップに参加してほしいです。影にすると、上手い下手は関係なく、影そのものがすごい力を持っています。普段あまり工作をしない方にも、ぜひその面白さを体験していただきたいです。

Q. お客さまへのメッセージ

影絵芝居というと、白いスクリーンに影が映し出され、映画やアニメのように物語が進んでいくものを想像される方も多いと思います。私の場合は、スクリーンだけではなく、会場の壁や天井など、さまざまな場所を使って上演します。皆さんが想像される影絵芝居とは少し違った、表現を楽しんでいただけたらと思います。都井岬から生まれた物語を、今回、宮崎の皆さんにも楽しんでいただける作品としてお届けします。皆さん、ぜひご来場いただければうれしいです。

川村亘平斎さん、
ありがとうございました！

川村亘平斎 影絵ワークショップ

2026年11月21日(土)
11:00~16:00(昼休憩・移動 12:00~13:30)

会場 JRA 宮崎育成牧場、イベントホール

対象 小学校 4 年生以上
※小学生の方は保護者の同伴が必要です

【公演・ワークショップの詳細は、チラシ・HPをご覧ください】



川村亘平斎

(c) 小暮哲也

知的・発達障がい児(者)にむけての劇場体験プログラム

劇場って楽しい!! 2026 in 宮崎



魔法使いとこびとたち~魔法の呪文「ダダダンス!!」~

昨年、宮崎県立芸術劇場は鑑賞サポートを初めて導入し、障がいがある方でもご来場いただける公演(座・高円寺レパートリー『夏の夜の夢』、リラックス・パフォーマンス 宮崎公演)を開催しました。今年は知的・発達障がい児(者)にむけての劇場体験プログラム、「劇場って楽しい!!」を初めて開催します。

「こたえがわかれば劇場は楽しい!!」劇場での鑑賞体験に不安がある方も、安心してください。コンサートを楽しみながら鑑賞しながらルールなども学べるプログラムです。さまざまな鑑賞サポートもご用意します。これまで劇場に行ってみたくても機会がなかった方に、ご来場いただきたいです。

「劇場って楽しい!!」ってなに？

企画・コーディネートを担当されている国際障害者交流センター
ビッグ・アイの鈴木京子さんにお聞きしました。

Q. 「劇場って楽しい!!」はどんな公演ですか？

A. 音の大きさや照明の明暗などに配慮し、「劇場」という場所への理解や鑑賞ルールを、体験を通じて学ぶプログラムです。発達障害や知的障害のある方と家族の社会体験、社会参加の場として、全国各地で開催しています。

Q. おすすめしたいポイントを教えてください

A. 開演前に、ブザーの音や照明が暗くなることを実際に体験できます。ホール内の案内サインはイラストで工夫され、イヤーマフの貸し出しもあります。出入りも自由なので、それぞれのペースで安心して楽しめます。

Q. 過去にご来場された方からはどのような反応がありましたか？

A. 継続して開催している劇場では、毎年楽しみに来場されるリピーターの方もたくさんいます。

「初めて劇場に来ることができた」「家族みんなで楽しめる場所だと思った」などの声をいただいています。

鑑賞サポート

- 全席自由席
- 車いす席 ※数に限りがあります
- 場内の明るさ(明)
- 音量(小さめ)
- イヤーマフ貸出(先着10台)
- 手話通訳
- じまぐ
- 看護師(見守り)

現場体験ワークショップ

当劇場では、「劇場って楽しい!!」の公演開催に先立ち、職員を対象とした研修を行いました。今回の研修には、県内文化施設職員の方や、障がいのある方にもご参加いただきました。実際に劇場内を一緒にまわり、「移動しにくい場所はないか」「案内は分かりやすいか」「もっと安心して利用していただくためには、どんな工夫が必要か」など、さまざまな視点から意見を出し合いました。

今回の研修でいただいた貴重なご意見を、これからの施設運営やサービスの向上につなげ、誰もが安心して、楽しく過ごせる劇場を目指していきます。そして「劇場って楽しい!!」が、より多くの方に劇場を身近に感じていただけるきっかけになればと思います。ご協力いただいた、九州障害者アートサポートセンター、アクロス福岡、宮崎県障がい者芸術文化支援センターの皆さまありがとうございました。



筆談ボードを体験

プロフィール 鈴木京子(すずき・きょうこ)

国際障害者交流センター ビッグ・アイのアーティスト エグゼクティブプロデューサー。舞台芸術の企画・制作を基盤に、障害のある人の文化芸術活動やアーティストとの創作、海外との共同プロジェクト、劇場アクセシビリティに取り組んでいる。

公演情報

知的・発達障がい児(者)にむけての劇場体験プログラム

劇場って楽しい!! 2026 in 宮崎

魔法使いとこびとたち~魔法の呪文「ダダダンス!!」~

2026.11.14(土)

公演 14:00~15:00(開場 13:15) ※上演時間 約60分(休憩なし)

会場 演劇ホール

出演 こびとたち: パーカッション・パフォーマンス CiLi
岩崎雅子、村岡慈子、若菜陽子
魔法使い(ダンス): 百田彩乃 案内人: 小野香織

演奏予定曲 聖者の行進/エンターティナー/
WAになっておどろろ ほか

【公演の詳細は、チラシ・HPをご覧ください】

歌と朗読で楽しむオペラ

魔笛

モーツァルトの名作オペラ「魔笛」。本作はそのストーリーを朗読で楽しみながら、5人のソリストによる歌とピアノ、フルートの演奏があなたを魅惑的なオペラの世界へ誘います。出演者の藺田潤子さん、谷口まりやさん、畝原功気さん、今村雅彦さんにお話を伺いました！



パミーナ
谷口 まりや
(ソプラノ)



タミーノ
畝原 功気
(テノール)



パパゲーノ
今村 雅彦
(バリトン)



藺田 潤子
(朗読)

Q.今回、『魔笛』を歌と朗読で上演しようと思ったきっかけを教えてください。

藺田潤子 今回、ご出演いただく大保麗香さんが企画なさった『魔笛』の曲をフルートで演奏し、その間を朗読でつなぐというコンサートに、出演させていただいたことがあります。私自身、朗読をしながらとても楽しかったですし、お客様もストーリーが分かることで、楽しんでいらっしゃるのを感じました。それで、「これを本物の歌でやったらどうだろう」と、思いました。私自身、『魔笛』を朗読するまでは、詳しく知らなかったのですが、お話をすることで、このオペラが身近なものになりました。

Q.お客様にはどのように楽しんでもらいたいですか。

藺田潤子 オペラのアリアなどをコンサートで耳にする機会はあっても、それが物語のどの場面で、どんな気持ちで歌われているのかまでは分からないこともあると思います。今回は、私の朗読で物語を追いながら、「ここでこの歌が歌われるんだ」というのを知っていただき、その時の、歌手の皆さんの生の歌声、歌の表情、オペラの魅力を感じていただければうれしいです。子どもさんから大人まで、『魔笛』の世界を楽しんでいただけたらと思います。

Q.歌を始めたきっかけと、『魔笛』との関わりを教えてください。

谷口まりや 子どもの頃から洋楽やポップス、ミュージカル、ディズニーが大好きで、11歳頃から歌を習い始めました。もともとはミュージカルをやりたいのですが、中学2年生の時に「ミュージカルをするにも基礎が必要なんじゃないか」と思い、声楽を始めました。学んでいくうちに、声を出すことそのものが面白くなって、そのまま大学でも声楽を専攻しました。『魔笛』のパミーナは、ドイツのザクセン州立歌劇場の若手アンサンブルに所属していた頃、本公演の大きな劇場で任せていただいた大きな役で、私にとってとても思い出があります。当時は初めての大舞台で緊張も大きかったので、その後いろいろな舞台で学んできたことを、今回はしっかり出せたらと思っています。

Q.パミーナの役にはどんな魅力がありますか？注目してほしいところを教えてください。

谷口まりや 最初は世間を知らない箱入り娘ですが、誘拐され、自分で逃げようとして、恋をして、失恋もする。急に外の世界へ出たことで、人間としてどんどん成長していく、ある意味とても勇敢な役だと思います。おとなしく繊細なイメージもありますが、怒る時は怒るし、悲しむ時は悲しむ、エネルギーのある人物です。たどきれいに歌うのではなく、そうした感情を表現したいです。特に静かなアリアの中で、パミーナが実はどれだけ絶望しているのかを聴いていただきたいです。

Q.声楽を始めたきっかけと、『魔笛』との関わりを教えてください。

畝原功気 もともとはポップスが好きで、中学生の頃はギターの弾き語りに没頭していました。それ以前にはピアノもやっていたので、楽器にはずっと触れていましたが、声楽を始めたのは17歳頃です。宮崎学園高校で合唱部に入ったことをきっかけに声楽を学び始め、高校2年生の2学期から音楽科へ移りました。その後、国立音楽大学へ進み、大学時代からモーツァルトの作品には多く携わってきました。『魔笛』も、大学時代に師匠が立ち上げたオペラプロジェクトで、オーケストラ付きの全幕公演として上演し、タミーノを演じました。今回は久しぶりに、こういう形でタミーノを歌えることを楽しみにしています。

Q.タミーノの役にはどんな魅力がありますか？注目してほしいところを教えてください。

畝原功気 王子様ではありますが、冒頭では蛇に追われて腰を抜かしてしまったり、笛の音に身を委ねたりと、少し夢見心地な部分もある人物です。一方で、パミーナの絵姿を見て恋をし、彼女への気持ちは最後まで強く持ち続けます。そんな弱さと強さの両方をうまく演じられたらと思っています。歌では、テノールならではの高音にも注目してほしいです。身体や呼吸をコントロールしながら高い音を出している、そうしたところも楽しんでいただけたらと思います。

Q.『魔笛』やパパゲーノとは、これまでどのように関わってきましたか。

今村雅彦 私のオペラ人生の中で、最も多く演じてきた役が『魔笛』のパパゲーノです。カット版やコンサート形式も含めれば、数え切れないほどになります。特に印象深いのは、2000年に東京文化会館で、実相寺昭雄監督の演出によって上演された公演です。監督自身が台詞を書き下ろすという非常にユニークな舞台でした。また、2017年に延岡総合文化センターで上演した際には、パパゲーノの台詞をほぼ延岡弁で演じました。演出家と何度も台詞を更新しながら作った、地元ならではの温かさ楽しさに満ちた舞台で、こちらも忘れがたい経験です。

Q.今回の公演で大切にしたいこと、パパゲーノの魅力をお願いします。

今村雅彦 何よりも、モーツァルトの音楽の美しさと素晴らしさをお客様にまっすぐ届けたいと思っています。『魔笛』には耳馴染みのある名曲も多く、ファンタジックな魅力に満ちています。パパゲーノは、肩肘張らず自然体で臨むことができ、自分らしさを最も自由に表現できる役です。演じるたびに幸福感に満たされる、大切な役でもあります。故郷・宮崎で愛するこの役を演じられることを大変うれしく思います。パパゲーノは私にお任せあれ！

♪公演情報

'26 みやざきの舞台芸術シリーズⅡ
歌と朗読で楽しむオペラ「魔笛」

日 時：2026年12月20日(日)
13:30開場/14:00開演

会 場：イベントホール

出演者：谷口まりや(ソプラノ)、畝原功気(テノール)
河野幸子(ソプラノ)、今村雅彦(バリトン)
松本英樹(バス)、大保麗香(フルート)
浜月春佳(ピアノ)、藺田潤子(朗読)

紅白対抗クラシック合戦！

みやざきの舞台芸術シリーズ第3弾は、「クラシックをもっと身近に、もっと楽しく」がコンセプトの参加型コンサート「紅白対抗クラシック合戦！」。宮崎県内外で活躍する演奏家たちが紅組・白組の2チームに分かれ、多彩な楽器による演奏でクラシックの名曲を披露します。今回は、公演を企画した河野幸子さん、出演者の河内朋子さんにお話を伺いました！



河内朋子さん

河野幸子さん

本公演を企画立案したきっかけは？

河野さん 普段思い浮かんだ企画はノートに書きとめていて、今回の企画自体は2年前から考えていたものでした。クラシック音楽の「敷居が高い」「難しい」といったイメージを少しでも変えたいという想いが常にあるので、お客さまにも参加してもらえるような仕掛けを作ること、クラシック音楽を聴くだけでなく、楽しんでもらえるコンサートとして企画しました。

河内さんから見て、この公演の魅力はどんなところでしょうか？

河内さん 今回のコンサートは、河野さんの発想された仕掛けが、今までにない内容でとても興味深いと思いました。またタイトルが「合戦」という事もあり、紅白に分かれてソロやアンサンブルで沢山の演奏家が出演します。来ていただいた皆様には、紅白どちらを応援するか迷っていただきつつ、心惹かれた楽曲や楽器の音色、アンサンブルの組み合わせ等、自分だけの音楽の「良いな！」を見つけてもらえたら嬉しいです。

この公演では、さまざまな楽器が登場しますよね。どんな曲が披露されるのでしょうか？

河野さん 今回は、声楽、ピアノ、弦楽器、管楽器が一堂に会して演奏を披露します。曲は演奏家に「クラシック音楽の名曲」から選曲してもらいました。私自身、「名曲」は何を持って名曲なんだろう？と考えることがあります。誰もが知っている「名曲」もあれば、その楽器を演奏する人たちにはおなじみでも、一般にはあまり知られていない「名曲」もあります。その二つの角度から選曲した音楽をぜひ楽しんでもらいたいですね。

河内さん 私が今回演奏する曲も、曲名を聞いてすぐ分かるようなものではないかもしれませんが、ぜひ聴いていただきたいと思い選曲したので、一人でも多くの人の心に響くといいなと思っています。

河野さん また、日本では珍しい国産最大のパイプオルガンがある会場なので、ピアノ伴奏だけではなくオルガン伴奏による演奏も予定しています。宮崎ではオルガンと他の楽器による共演を聴く機会は少ないと思うので、こちらも楽しみにしていただけたらと思います。

この公演は、観客のみなさんも参加できる「参加型」コンサートとなっておりますが、どのような形で参加していただく形になるのでしょうか？

河野さん 参加の形として手拍子をしたり歌ったりというコンサートもありますが、ちょっと変わったことをしたくて(笑)。今回の公演では男女関係なく楽器や曲のバランスで紅組と白組に分かれて演奏するので、お客さまには最後に良かったと思うチームに投票してもらいます。それを日本野鳥の会宮崎県支部の皆さんにカウントしてもらいますので、投票方法はなんとなく想像がつくとは思いますが...

河内さん 伺っている投票方法なら、会場にいる全員に紅白の割合が目に見えますね。中間発表とかもありますか？(笑)

河野さん それ、いいね！(笑)

最後に、公演に来てくださるみなさんに一言お願いします。

河野さん 新しい年の始まりに、いつもとは少し違う音楽の楽しみ方をしてみようかなという気持ちで気軽にお越しいただけたらと思います。新たな参加型の「クラシックコンサート」をぜひお楽しみください。

河内さん このコンサートが、また演奏を聴きに行きたいね、と思っていただけるきっかけになると嬉しいです。ご来場お待ちしております！



公演情報

'26 みやざきの舞台芸術シリーズⅢ

紅白対抗クラシック合戦！

日 時：2027年1月11日(月・祝)
13:30開場/14:00開演

会 場：アイザックスターンホール

出演者：稻森愛、畝原功気、小崎輝岳、河内朋子、河野幸子、黒木真紀子、佐賀冨美、戸高美穂、日高慶子、平山美津代、山下友輔 ほか

司会進行：萩原のぞ弥

協力：日本野鳥の会宮崎県支部

主催：音の輪プロジェクト 公益財団法人宮崎県立芸術劇場

チケット発売日 10月4日(日) 午前10時～
※詳細はホームページにてご確認ください。

10/18日 14:00開演 演劇ホール	こどもおとなも劇場#11 to R mansion『走れ☆星の王子メロス』 【出演】to R mansion、江戸川 じゅん兵、植本 純米、日高 啓介、イーガル(ピアノ)、こみてつ(チェロ&ギター) 全席指定・前売価格 一般:3,000円(2,700円) U25割:1,000円 おとなこども割:3,500円※4歳から中学生十一歳 3歳以下:膝上鑑賞無料	0歳から入場OK! チケット発売中
11/1日 14:00開演 アイザックスターンホール	小曽根真 × 壺阪健登 ソロ&デュオリサイタル 【出演】小曽根 真(ピアノ)、壺阪 健登(ピアノ) 全席指定・前売価格 S席:5,000円(4,500円) A席:4,000円(3,600円) U25割:各席種半額※鑑賞時25歳以下 ※未就学児入場不可	チケット発売中
11/4日 11:00開演 イベントホール	はじめてのクラシック♪ #21 ~ホルン~ 【出演】宮田 美波(ホルン)、富山 里紗(ピアノ) 未就学児:無料 小学生以上:500円 ※料金は、当日受付にて現金でお支払いください。親子20組(子ども含む1組4名まで)	0歳から入場OK! 申込受付中 10月19日(月)申込締切
11/14日 14:00開演 演劇ホール	知的・発達障がい児(者)に向けての劇場体験プログラム 劇場って楽しい!! 2026in宮崎 協力:公益財団法人アクロス福岡、九州障害者アートサポートセンター、宮崎県障がい者芸術文化支援センター 企画・コーディネート:国際障害者交流センター ビッグ・アイ 【出演】こびとたち:バーカッション・パフォーマンス「CiLi」(岩崎 雅子/若菜 陽子/村岡 慈子)、魔法使い(ダンス):百田 彩乃、案内人:小野 香織 全席自由 3歳以上:ひとり500円 ※当日精算 ※定員:350名(要申込・先着順)	0歳から入場OK! 申込受付中 10月13日(火)申込締切 ※定員に達し次第受付終了
11/22日 14:00開演 イベントホール	プロジェクト午 川村亘平斎の影絵と音楽 午年影絵『春と田畑は風を追う』 【出演】川村 亘平斎、HAMA、トンチ、カメイナホコ、ワークショップ参加者 全席自由 一般:2,000円 U25割:1,000円※鑑賞時25歳以下 4歳~中学生:500円※4歳から入場可	10月4日(日) 午前10時~
11/28日 11:00開演 アイザックスターンホール	パイプオルガン プロムナード・コンサートvol.179「ふらっと⇄オルガン」 【出演】濱野 芳純(オルガン)、伊豆 謡子(司会) 全席自由 ひとり500円 ※未就学児入場不可	チケット発売中
11/29日 14:00開演 アイザックスターンホール	'26みやざきの舞台芸術シリーズI「宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団 第30回記念定期演奏会」 【出演】大谷 麻由美(指揮)、吉田 仁美(オルガン)、楠元 蓮生(ヴァイオリン)、久保 成美(フルート)、尾崎 紫音(ハープ)、宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団 全席自由 大学生以下:1,000円 一般:1,500円 ※未就学児入場不可	10月4日(日) 午前10時~
12/3日-12/6日 演劇ホール	PARCO PRODUCE2026『スリーゴースト Three Ghosts』 共催 【出演】堺 雅人、倉科 カナ、伊勢 佳世、迫田 孝也、sara、小日向 星一、高畑 淳子、段田 安則 全席指定 S席:12,500円 A席:9,500円 B席:6,500円 U-18:4,500円※観劇時18歳以下 ※未就学児入場不可	※公演HPを ご確認ください
12/6日 14:00開演 野口遵記念館	NINJA BRASS ~音のお城巡り 戦国時代×ドラゴンクエスト~ 【出演】高橋 敦(トランペット)、伊藤 駿(トランペット)、西條 貴人(ホルン)、小田桐 寛之(トロンボーン)、佐藤 潔(チューバ)、西川 圭子(パーカッション)、蔭井 清夏(ヴァイオリン) 全席自由 一般:3,000円(2,700円) U25割:1,000円※鑑賞時25歳以下 ※未就学児入場不可	チケット発売中
12/12日 14:00開演 演劇ホール	ピアノトリオ「新世代の響き」~前田妃奈(ヴァイオリン)×佐藤晴真(チェロ)×久末航(ピアノ)~ 【出演】前田 妃奈(ヴァイオリン)、佐藤 晴真(チェロ)、久末 航(ピアノ) 全席指定・前売価格 一般:4,000円(3,600円) ペア割(2枚1組):7,000円(6,300円)※前売りのみ U25割:1,000円※鑑賞時25歳以下 ※未就学児入場不可	チケット発売中
12/20日 14:00開演 イベントホール	'26みやざきの舞台芸術シリーズII 歌と朗読で楽しむオペラ「魔笛」 【出演】谷口 まりや/河野 幸子(ソプラノ)、畠原 功気(テノール)、今村 雅彦(バリトン)、藺田 潤子(朗読)ほか 全席指定 一般:3,000円 U25割:2,000円※鑑賞時25歳以下 ※未就学児入場不可	10月3日(出) 午前10時~

Attention(ご注意)

◎記載情報は変更になる場合があります。◎()内はくれっしえんど倶楽部会員価格です。◎U25割は鑑賞時25歳以下が対象。その他の割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。
◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増になります。※一部公演除く◎託児サービス(有料・事前申込要)がご利用いただけます。※一部公演除く



パイプオルガンプロムナード・コンサート ふらっと⇄オルガン

11:00 開演 (10:30 開場)

メディキット県民文化センター アイザックスターンホール

vol.179

11.28

SAT



vol.180

2027

3.13

SAT



全席自由:500円

※未就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

お問合せ



宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

〒880-8557 宮崎市船塚3-2-10
https://miyazaki-ac.jp/

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670
Instagram Twitter Facebook 随時更新中!「フォロー」と「いいね!」お待ちしています